

生乳の安全安心確保に向けて

■ 観音寺市・三豊市 「生乳の安全安心確保検討会」 ■

（西讃農業改良普及センター 宮崎 勝、○岸本 靖、真鍋大明）

●対象の概要

西讃管内の酪農家数は、高齢化と飼料価格の高騰などの影響から減少傾向で、現在17戸となっている。

県下の生乳の流通体系は、平成27年6月に「香川中央CS（クーラーステーション：集乳所）」での集乳に一本化されたものの、西讃地区の生乳集荷団体は、香川県農業協同組合と西讃酪農農業協同組合の2団体があり、生産者への指導体制は一本化されていない。

●課題を取り上げた理由

生乳品質は、季節変動はみられるものの全般的には改善されてきた。しかし、出荷先の乳業メーカーによっては、生乳の風味について一定の基準を設定して生乳の出荷を制限するなど、生産者は生乳の品質改善を求められていた。

●普及活動の経過

1 生乳の安全安心確保検討会の開催

普及センターでは、生乳の安全性の確保の取り組みとして生産者団体と連携して生乳生産チェックシートによる巡回指導に取り組んでいたが、平成24年度から生産者への指導体制を一本化するため、関係機関が一堂に会した「乳質改善検討会」を開催した。

○関係機関一覧

- ・香川県農協 三豊畜産振興センター（以下、県農協三豊畜産C）H27より香川県農業協同組合 酪農振興センター
- ・香川県西讃酪農農業協同組合（以下、西讃酪農協）
- ・香川県農業共済組合三豊支所・三豊家畜診療所
- ・香川県農業経営課
- ・西部家畜保健衛生所西讃支所（以下、家保西讃支所）
- ・西讃農業改良普及センター

翌年度には、生産者団体代表（県農協三豊畜産C酪農部会長、西讃酪農協代表理事組合長）の2名を加えて、生産者の声を反映させた。

また本年から、名称を「生乳の安全安心確保検討会」と改め、搾乳環境など乳質以外にも含めた幅広い内容の検討を行った。

2 取組みの重点項目の設定

年度ごとに「生乳の安全安心確保の重点項目」を設定し、取り組み易い項目から順次取り組み、実績を積み重ねた。

- ☆ 「搾乳作業改善指導パネル」作成
- ☆ 細菌検査による「乳房炎対策指導」
- ☆ 「改善依頼書」の発行
- ☆ 搾乳システムの「業者点検実施」
- ☆ 「搾乳室の整理」と事例紹介
- ☆ 「酪農女性の会」を発足。酪農家女性による安全安心の取組推進

図-1 重点取組の実施内容一覧

3 生乳生産チェックシート巡回の実施

生乳生産チェックシートは、生乳生産の安全・安心のために実施すべき重点管理基準を、酪農家が自らチェックし、自己管理や改善に取り組むもので、万が一不慮の事故が発生した場合、その原因を把握できるほか、酪農家が衛生的に管理していたことを証明する役割がある。巡回指導は、生乳生産者2団体の事務局及び家保西讃支所とともに2回の全戸巡回を実施し、チェックシートへの記帳状況を確認、指導した。



関係機関によるチェックシート巡回



酪農女性の会によるアンケート調査

4 飼養環境の改善指導

搾乳牛は暑熱、子牛は寒冷のストレスによって、生産性に影響を受けやすいことから、早めの対策として、暑熱・防寒対策の資料を作成し、全酪農家に配布して巡回指導時に対策の実施状況の確認を行った。

また近年、病気の媒介や牛のストレスとなるサシバエの対策をすすめるため、サシバエの防除対策資料を作成、配布するとともに、サシバエの捕獲実証を2戸で実施した。



搾乳牛舎内への細霧噴霧による暑熱対策

5 「酪農女性の会」の設立と活動支援

女性目線での生乳品質等の改善に向け、「三豊・観音寺酪農女性の会」を発足し意見交換等を行った。また、課題となっている生乳風味を消費者はどう感じているのかを確認するため、三豊市の協力の下、11月27日に開催された「三豊発！さぬき軽トラ市」で112名の消費者にアンケート調査を実施した。

●普及活動の成果

- 1 生乳の安全安心確保検討会を開催し意識統一を図った結果、関係機関が一体となった指導体制が整い、適正な指導が行えるようになった。
- 2 生乳生産チェックシートの適切な記帳が定着し、生乳処理室の衛生環境が大幅に改善された。
- 3 酪農家の自己チェックの意識が定着するとともに、乳質に対する意識が向上したことで、乳中の体細胞数が減少した
- 4 「暑熱・防寒対策」の早めの推進によって、夏場の屋根散水装置の整備や冬場の子牛ジャケットの装着などが進んだ。
- 5 サシバエ捕獲器の実証によって、サシバエ防除の必要性が認知されるとともに、効果的な防除方法を確認できた。
- 6 「酪農女性の会」の発足によって、女性目線での取組みを推進できるようになった。

●今後の普及活動の課題

- 1 生乳品質の確保
「生乳生産チェックシート巡回指導」により農家の乳質に対する意識が向上したが、季節により乳質にバラツキが見られるため、引き続き、現場巡回を実施し、生乳品質の確保に努める必要がある。
- 2 生乳処理室の環境改善
搾乳環境の改善のうち生乳処理室の改善が必要で、取組み戸数を増やすため、四国生乳販売農業協同組合連合会の「生乳処理室美化・衛生管理認証制度」による、西讃地区での認証取得を目指した環境改善を進める必要がある。